

令和3年5月26日

教員各位

サイバーフィジカル情報応用研究コア長
那須 保友

令和3年度サイバーフィジカル情報応用研究コア (Cypher)
Society5.0 研究支援プログラム 研究課題の募集について (通知)

このたび、サイバーフィジカル情報応用研究コア (以下「Cypher」という) では、本学教員が行う Society5.0 の実現に向けた AI、データサイエンス等の応用研究の強化を支援するため、標記プログラムを実施することとなりましたので、お知らせします。

ついては、下記のとおり研究課題を募集しますので、応募者は申請書等を作成し応募期間内に提出願います。

記

助成件数：6件程度

助成金額：1件あたり **50万円以内**

応募資格：本学常勤教員 (特別契約職員及びテニユア・トラック教員を含む)
及び本学博士・博士後期課程在籍学生

申請者の年齢が40歳以下 (令和4年3月31日現在) であること

対象：Society5.0 の要素技術 (AI、IoT、ビッグデータ、ロボット、ドローン、ブロックチェーン等) を用いた研究課題

応募期間：令和3年5月26日 (水) ~ 6月16日 (水)

研究期間：採択通知日 ~ 令和4年2月28日 (月)

※物品購入 (納品を含む)、旅費・謝金等の実施は2月中に完了させること。

助成内容：機能強化経費を研究費として研究代表者に配分する。

使用できる経費は、物品購入費、旅費、謝金、雑役務費とする。

なお、研究期間中に使用できなかった研究費は返還すること。

学生の場合は、所属する研究科 (指導教員) に配分するので、大学の管理下 (指導教員のもと) で適切に使用すること。

選考方法：Cypherにおいて書面審査を行い、コア長が決定する。

必要に応じて、ヒアリングを実施する。

主な選考基準：下記を基に総合的に判断し、選考する。

- ・ Society5.0 の形成に資する研究課題となっているか
- ・ 独創性を有する研究課題となっているか
- ・ 競争的資金等の獲得が期待できるか

選考結果：令和3年7月1日 (木) までに採択者へ通知する。

採択後：一定期間ごとに経費執行状況及び予定について確認するので、報告すること。

研究終了後1ヶ月以内に、研究成果報告書及び決算報告書をコア長に提出すること。

採択課題を基にしたテーマで来年度以降の競争的資金の獲得にチャレンジすること。

来年度以降の Cypher 研究会・シンポジウムにて研究内容について発表すること。

その他：科研費等他の公募事業との重複申請を可とする。他の公募事業との重複申請になる場合はその旨明記すること。

申請書類等：申請書は、以下の CypherHP からダウンロードして作成し、電子媒体として下記まで提出すること。**その際には研究概要がわかるポンチ絵を1枚程度添付すること。**

https://cypher.okayama-u.ac.jp/work/work_20210526/

問合せ及び申請書提出先：

Cypher 馬場 TEL: 086-251-8706 E-mail: kenbaba@okayama-u.ac.jp

サイバーフィジカル情報応用研究コア(Cypher) Society5.0 研究支援プログラムについて

令和3年5月26日
サイバーフィジカル情報応用研究コア

1 趣 旨

本学教員が行う Society5.0 の実現に向けた AI、データサイエンス等の応用研究の強化を支援することにより、本学の研究力向上を図る。

2 対 象

Society5.0 の要素技術 (AI、IoT、ビッグデータ、ロボット、ブロックチェーン等) を用いた研究課題を対象とする。なお、科学研究費助成事業等学内外の他の公募事業との重複申請を可とする。

3 申 請

研究費の支援を希望する教員は、別に定める方法によりサイバーフィジカル情報応用研究コア長 (以下「コア長」という。) に申請するものとする。

4 応募資格

本学常勤教員 (特別契約職員及びテニュア・トラック教員を含む) 及び本学博士・博士後期課程在籍者とし、申請者の年齢は当該年度末現在で40歳以下とする。

5 経 費

- ① 本事業により支援を行う経費は、本学の教員が研究を実施するにあたり直接必要な経費 (備品費、消耗品費、旅費、謝金、雑役務費) とする。
- ② 本事業により支援を行う経費は、採択課題と関連する内容の事項にのみ使用すること。
- ③ 研究期間中に使用できなかった研究費は返還すること。

6 選考及び報告

- ① サイバーフィジカル情報応用研究コア (以下「Cypher」という。) において書面審査を行い、コア長が決定する。コア長が必要と認める場合は、ヒアリングを実施することができる。
- ② コア長は選考結果を全学に報告する。

7 選考基準

選考にあたっては、以下を基準とし、総合的に判断するものとする。

- ・ Society5.0 の形成に資する研究課題となっているか
- ・ 独創性を有する研究課題となっているか
- ・ 競争的資金等の獲得が期待できるか

8 研究成果報告等

採択者は、採択後、一定期間ごとに経費執行状況及び予定についてコア長に報告するものとする。また、研究終了後1ヶ月以内に、研究成果報告書及び決算報告書をコア長に提出するものとする。

9 研究成果

採択者は Cypher が行うイベント等で研究成果を発表するなど、Cypher の活動に参画するものとする。また、採択課題を基にしたテーマで来年度以降の競争的資金の獲得を図るものとする。

10 事務

本事業の事務は、研究協力部の協力を得て Cypher 事務室において行う。

以上

令和3年 月 日

令和3年度サイバーフィジカル情報応用研究コア Society5.0 研究支援プログラム申請書

サイバーフィジカル情報応用研究コア長 殿

研究者氏名・所属・職名

E-mail

(学生の場合のみ) 指導教員氏名・所属・職名

E-mail

研究題目						
研究概要	研究目的、手法、期待される成果を明らかにして500字程度で書くこと					
研究計画	研究期間内に実施する内容を具体的に書くこと。また、来年度以降の発展性を書くこと					
本研究課題に関連する内容で受給中または申請中の競争的資金 最も関連のあるものを最大1件						
採択された場合に、本研究課題の発展として来年度申請する競争的資金						
経費内訳	物品購入費	金額	旅費	金額	その他	金額
		千円		千円		千円
	計		計		計	
合計					千円	

* 1ページに収めること。研究概要がわかるポンチ絵を1枚程度添付すること。提出時に赤字を削除。

令和 年 月 日

令和3年度サイバーフィジカル情報応用研究コア Society5.0 研究支援プログラム
研究成果・決算報告書

サイバーフィジカル情報応用研究コア長 殿

研究者氏名・所属・職名

E-mail

(学生の場合のみ) 指導教員氏名・所属・職名

E-mail

研究題目						
研究成果の概要 <i>研究費執行結果との関係を明らかにして500字程度で書くこと</i>						
今後の研究計画 <i>申請予定の競争的資金を踏まえて書くこと</i>						
経 費 内 訳	物品購入費	金額	旅 費	金額	その他	金額
		千円		千円		千円
	計		計		計	
				合計	千円	

* 提出時に赤字を削除。